

日本は大森持ち

日本は大森持ち!!

日本の森林率は70%日本の国土約1割が森林です。先進国の中で世界で2位。日本の木材自給率は約40%です。木材はたくさんあるけど自給率は少ないです。日本の昔明治時代は日本で過去最も森林が荒れ果てたとも言われています。

しかし第二次世界大戦が始まると大量の木材が必要になり全国各地の山がげ山になってしまいました。戦争が終わった後は大水害が発生したりしました。戦後何もなくなった町を復興するため植林をしました。成長がはやく長く真っ直ぐ使いやすいために、杉や桧がたくさん植えられました。木を必要とする人が多かったため値段は急に上がり、当時は植林ブームになりました。

木の魅力

二酸化炭素を吸い酸素を出してくれたり、水をきれいにしそして栄養分を含んだ水を作りためられる。木があると紙を作ったり家を建てたり生活の資源になる。桧と杉は色が違い赤黒いのが杉でしろいのが桧。桧は成長が遅い。杉の葉っぱの先には花粉がついていて杉は30年〜50年になると切らないといけない。

木の特徴

温かみ・やわらかさがあり木は長持ちします。後、長く使うほど味が出て、色に深みが出ます。木は火に強いです。木は人間が怪我した時かさぶたができるみたいに木も切られたところを保護しようとしまします。ふしが多い木は曲がりやすいけどふしが少ない木は折れにくい。



日本の林業が抱える問題

高度経済成長で生産業が減りおとろえていきました。

外国産の木材に半分以上頼っている。間伐などをしないと木が成長しなくて土砂崩れになったりしている。

世界で違法伐採と環境破壊が進んでいる。

昔に比べて日本の木材自給率が低下している。ウッドショックで木の価格が2倍になったり、コロナで住宅を建てる人が増え加工・輸送が遅れている。後ロシアがウクライナを攻めたため日本に木材が入らない。



日本の森林の未来

木は使うべき守るべきどっちもだと思えます。理由は生活の資源になるし家も木で建てたり紙を作ったりできるし自給率が低下しているからです。

でも木は二酸化炭素を吸って酸素を出してくれるからたくさんは使わないほうがいいと思えます。

①日本の木は今どうなっているのか？

「日本がハゲ山？」

②昔は戦争があり木を沢山使っていたため、森がハゲ山になってしまった。戦争後家などがなく木を沢山使っていた。今はハゲ山がどんどん減ってきている。↓最近では使える木はあるのに林業の仕事をする人が減少して使える木が溜まって来ている。

「人工林と天然林」

現在林業で働く人が少なく、人工林ではなく天然林が五割をしめています。(人工林にはスギ、ヒノキがよく使われている。)



「森林はこんなに沢山のメリットがある!!!」

木は二酸化炭素を吸うため空気が綺麗です。そのため環境も優しいです。また木から作られる様々なもの例えば割箸、家具、工芸品などです。

雨が降ると森は水を綺麗にしてくれます。天然林が水を蓄えて水資源を守っています。森には沢山の動物がいます。動物に心地よいすまいを森は作り出しています。

木は燃えやすいと言われていますが、実は鉄の方が溶けやすいです。

木は何年おいても少し切るとすぐに新品のように綺麗になります。実際に何年も置いていた木を少し切ると綺麗になりました。そのままの木の色や質でも古い色などがとても良いです。

災害を守ってくれます。(山崩れ、風邪や雪の害など)を防ぎます。

スギの木・ヒノキの違い↓色(赤黒いのがスギの木、白いのがヒノ木)

「日本の森林の工夫」

木は密着しすぎていると1つ1つの木に光が当たらない。そうすると少しではなく全ての木が育たなくダメになってしまいうので一部の木を切り光が届くようにする。

「日本の木の減少・林業で働く人について」

最近日本の木が減っています。外国からの木は安く質も良いそうなのでとてもよく売れます。また日本は輸入に頼ってきているので日本の木があまり知られないようになってきました。これにつれて林業で働くのではなく商業や運輸で働く人が増えました。昔は戦後で家があまりなかったため林業で働く人も多かったです。



「外国の木と、日本の木は現在どうなっているのか」

日本の木より外国の木の方が売れるのは外国の木の方が高いです。日本の森林が持つたくさんの資源の価値はお金で言うと年間10兆円の利益を生みます。戦後スギや、ヒノキを迎えているのに日本では国産材より外国産の木材の方が多く使われています。日本は外国に比べて山が急なので木を運ぶ道が少ないからです。スギやヒノキはとても育つと山から降ろしたり加工するのが難しくなります。また費用もかかります。

⑤「日本の木は 守るべき? 使うべき?」

↓ずっと外国に頼っていると日本の文化、木が減ってしまい、外国の木ばかりになってしまふ。

↓逆に使いすぎると、今、木は足りていないけれど木は色々な物になるのでそこからどんどん木が減っていく。また、外国の輸出がなくなる。今は林業で働く人が減っているので木を切る人がいないから。

今外国の木が多くなり日本の木が減って来ているから日本の木をまもりつつ、使わなすぎないで外国との関係を持ったら良いとおもいます。

④「ロシアの戦争・コロナ」

コロナになると色々な国の仕事がなくなつた。またコロナが治ってきた頃やっと仕事を始めようという時にロシアの戦争が始まりました。たくさん問題の中で対策が考えられました。(届ける時に一番近道を通るなど、)問題が増えるにつれてどんどん値段も上がっていききました。また届ける時に一ヶ月ほどかかったり、確認などに時間がかかる。

日本の伝統を受け継いでいくためには

日本の木の歴史は？

日本は3000年以上前の縄文時代の頃から木を使っていて飛鳥時代には法隆寺などに活用されました。このように神社や寺を建てるために木をつかうようになり森林破壊が進んでいきました。第二次世界大戦が始まると鉄などの金属で武器を作るのに木をたくさん使い日本の山のほとんどがハゲ山になってしまいました。その後、植林を始め日本に木が増えていきました。

林業が抱える問題

日本の林業が抱える問題はたくさんあります。一つ目は林業で働く人が減って商業や製造業で働く人が増えた事です。また、木の使い方や良さ、特徴を知らない人が多い事です。日本の木の良さを知らない人が多く働く人も減ると日本の木の伝統を受け継ぐ人がいなくなってしまう、木を使う人も減っていってしまいます。一方、世界では人口増加や違法伐採により森林破壊が進んでいます。ですが、日本では「JASMAーク」というものがあり国で認められた木を使っているので私たちが違法木材を買う事はほぼないです。

世界最古の木造建築

世界最古の木造建築と言われている法隆寺は飛鳥時代(592年)、聖徳太子が奈良県に作りました。この法隆寺はとても耐久性に優れている檜という木で全部作られているため戦時中は避難のため一回解体されました。そして、戦後報告書をもとにまた建て直されました。ネジや釘を使わないで組み合わせて作る方法を車知継ぎと言います。もしネジや釘を使って建てていたら、法隆寺は一旦バラバラにしたとしてもまた一から作り直す事になります。この法隆寺には昔の人の知恵が詰まっています。また、法隆寺はバランスが良く作られているので今まで一度も倒壊したことはありません。

「松野商で学んだ木の魅力」

日本で使う木はほとんどがヒノキか杉の木です。杉の木は赤黒い色をしています。ヒノキは白い明るい色をしていて匂いが良く肌触りが良いです。杉とヒノキはどちらも針葉樹林です。木材は中国やオーストラリア、フィンランドの他にも今は輸入禁止となっていてロシアからも輸入されています。フィンランドの木はドイツで製材されていますが運ぶのにウクライナを通るため輸入ができなくなりました。ウクライナ通らずに運ぶと時間がかかり木がなかなか届かなくなります。そのため世界で木の取り合いが起って木の値段が高くなりました。外国材がなくなると国産材も高くなります。また、木には節というものがあり節がたくさんあるものは折れやすく使えなくなるものもあります。さらに、樹齢200年の木もあります。木を倉庫に運ぶときはリフトというものを使って、3メートルの高さまで運びます。

日本は木を守るべき？使うべき？

私は木は守りながら少しずつ使ったらいと思えます。理由は、どんどん木を使ってしまうたらまたハゲ山になってしまうかもしれないし地球温暖化が進行していってしまうからです。でも、手入れをせずに放っておくと台風や日光が当たらないなどの原因で使えなくなってしまうかもしれないので森林の手入れとして間伐を定期的に行い、より根の強い木を生活の資源などに使ったらいいと思えました。さらに、日本にはたくさん木があるのに木の良さや特徴を知らない人が多いです。国でも林業で働く人を増やして日本の伝統を受け継ぐ人達を増やしていきたい、私たちがたくさん木を使って少しでも木を好きになる人が増えていくようにしていきたいです。



私達の使っている木は、違法伐採の木ではない！

日本は、いつから木を、使い出したのか？

日本は、3000年前縄文時代から、木を、使っていた。昔は、火を燃やすためや木を栽培して使っていた。鉄や、塩を、作る時には、土地が800ヘクタールの、たくさんの土地が必要だった。

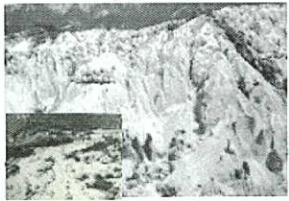
日本は、昔ハゲ山だった
明治時代から、第二次世界大戦で武器として大量に使われてしまいハゲ山に、なってしまった。そして、第二次世界大戦後ハゲ山が原因で今までには、なかった大水害が起こってしまった。
そして日本は、木が足りなくなったためすぐに木を植えなおし、元通りの、山に戻した。

木の良い所

しばらく木を置いておくと色がより深くなったりして伝統的な、建物や、お寺などには、よく使われる事が多い。そして今地球温暖化の、原因と、なっている二酸化炭素を、木は、ためいる。二酸化炭素を、吸った後は、綺麗な、酸素を、出してくれる。また、雨が降ったら、雨水を、ためて、栄養の、ある水を、出してくれます。

違法伐採

違法伐採とは、国で決められた量よりも多く木を伐採したり木を切つてはいけないと、許可されていない場所を、伐採したりして違法を破って木を切つたりすることを、違法伐採と、言う。それが問題に、なっている。違法伐採すると環境破壊や、木をすみかとしている、動物が自分の、家を壊されたと、同じようになってしまう、そして地球温暖化の、進行の、原因と、なってしまう
私達が使っている木は、違法伐採で切られた木ではなく、ちゃんとした林業で、切られた木を、使っている。ほとんどの木が違法伐採では、ないから、安心して木を使えることが出来る。

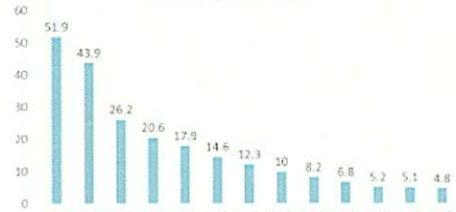


ハゲ山

ハゲ山から元通りに、木をもう一度植林した。



林業で働く人の数の変化



林業で働く人が足りない

使える木がたくさんあるのに木を切る人が少なくて森林が荒れてしまう。森林が荒れてしまうと土砂災害が起こったりして大雨が降ったりすると木が流れてきたりして危険に、なってしまう。

なぜ林業で働く人が少ない？

林業は、とても危ない仕事で、仕事中にも怪我や、死亡してしまうから働く人が少ない。だから林業で働く人が少なくて林業で働いている人は、とても大変な事で困っている。木を、切る時には、たくさんの、人が必要で、どこに木を倒すかなどの、木の近くにいない人からもう少しこうすれば良いとの声が無くなってしまい、木と木がぶつかってしまつて木が折れまうかもしれないから、林業で働く人がいなくなると、とても大変になってしまう。

今は木を使うべき？・守るべき？

木は、守るべきけど少しは、使っても良い
なぜなら、木を使いすぎると二酸化炭素を吸ってもらえなくなつて地球の環境が悪くなってしまう。
そして木を使いすぎるとまた木を育てないといけなくなってしまうから、育てるには、時間がかかってしまう。
だけど伝統的な物や、お寺などには、木は、使っても良いが、木を、無駄使いするのは、良くない。
木は、日本だけ木を守るのではなく、世界中の、木も、守った方が良い。なぜなら、世界中がもし世界の、国の木を、守って日本だけ木を守っていないと他国から日本の、木を切られてしまつたり日本の、木がなくなってしまうかもしれないから、世界中で、協力して木を、守つ方が良い。

日本の森林を知ろう

日本の森林

日本はとても大森持ちです。森林率は67%で約7割が森林です。そして木のいいところは住処や空気木材資源などが取れます。木があればあれほど良いのです。しかし、多すぎて光が当たらなくなると成長しなくなるので間伐が必要です。

歴史 戦時中には乱伐により森林が荒れて戦後は復旧造林が行われた

木の魅力

木材の魅力は優れた断熱性、湿度を自然に調節、軽くて強い、衝撃吸収などです。しかしよくない点も少なからずあります。それは、腐る、燃える、材料特性のばらつきが多いことです。



木の使い道

木は建築だけでなく、他のことにも使われています。工事（土木資材）家具、資源利用（バイオマス、チップ等）、特用林産物などでも使い道が多いです。



将来の森林

林業の問題は働く人が少ない、非伝統的な行為、違法伐採による森林破壊などです。働く人が少ない理由として危険な作業だからと考えられます。他にも天候などが深く関わってきます。違法伐採により森林が破壊されています。している人だけではなく、私たちがその人が売っている木材を買っているかもしれないと聞いて不安に思っていました。しかし、今の日本は少ないと聞いてとても安心しました。



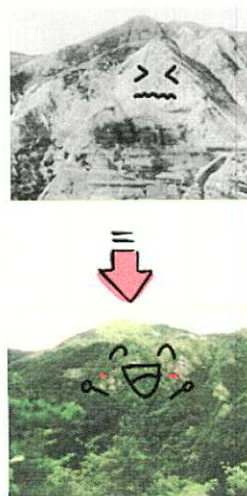
私は森林を守るべきだと考えています。間伐や枯れてしまったものは使ったらいいと思う。しかし、取りすぎや違法伐採で森林破壊が進んでいます。いなくなったら捨てるのではなく何かに使おうと。かんがえないといけない。でもそれは政府や職人さんだけの問題ではなく私たちにも責任があると思います。森林破壊を手伝っているのは私たちだし、よく考えてから買ったたりするなどの対策をとった方がよいと思います。森林を守ったり上手に使えるようになると思定した林業ができるだろうと思いましたが。私はこの学習を終えてもっと木のことを知りたい、使ってみたいと思えるようになった。木の良さを少しでも多くの人に伝えたいです。

森と共に生きる

【人と木の歴史】

日本人は3000年以上前から、火を燃やすために木を切ったり、弓や、やりなどとして使っていました。そのうち、お寺などに使うようになったり田を作るために森を切り開いたりしました。そして工業の燃料にしたり、塩を取ったり、刀を作るためにたくさんの場所です伐採が進みました。一つの製鉄所で800ヘクタールの面積の木を燃料として伐採したのではげ山になってしまいました

けれど戦後、はげ山にたくさんの苗木を植え、再び緑が戻っています



【木があると?】
左の写真は慈照寺です。銀閣寺ともいわれるこの建物は1482年に建てられ一度も建て替えられることなく残っています。そして横にある木。この木があると慈照寺がより綺麗に見えます。



【木の魅力って?】

木にはたくさんの魅力があります!
温かみ、やわらさ
そして、長持ちし、鉄などに比べ火に強いんです。
使うほど色に深みが出ます
さらに
リサイクル
出来ます!



【木の未来と私達】

【日本の林業!】
みなさんは違法伐採を知っていますか? 違法伐採は環境破壊、地球温暖化の進行、不正な貿易、ゲリラやテロ組織への資金供給などの問題を引き起こします。
そんな違法伐採の木を私たちが買ってしまっていることは: ありません。日本はちゃんと確認してから輸入したり、日本で違法伐採をしないようにしているので、紛れたり、買ってしまっていることはありません。

私は日本の森林は守りながら使ったらいと思っています。
森林は人間にとっても動物にとっても大切な役割をしています。動物の住みか、空気を綺麗に、そして水をたくわえ、綺麗にしてくれます。さらに災害も防いでくれます! しかし、日本に木は足りています。足りているのなら大切に使いばいいと思うので、森林は守りながら使いばいいと思います。